

# 特別委員会の最終報告

## 庁舎等建設特別委員会

本委員会は、市庁舎ほか公共施設建設に関する調査研究を行うことを目的とし、平成22年9月に設置し、平成25年3月までの間に計16回開催し、調査研究を重ねてきた。

平成23年3月定例会では、総合保健福祉センター建設に対し、4項目からなる意見書を市長に提出し、この施設が市民の福祉の向上と健康づくりの拠点となるよう強く要望した。

しかし、意見書提出から11日後の3月11日には、東日本大震災が発生し、津波対策の重要性の議論が高まり、これを機に本委員会でも、議論を重ねた結果、平成23年6月定例会で報告を行った。

主な内容として、新た

な公共施設の建設場所では、ランニングコストやライフサイクルコストを重視しつつ、併せてランドマーク的存在感のある建築物を災害に強い場所に集約すべきである。

機能は、免震と耐震を組み合わせ、箱物建設の要求と、文化ホール・図書館は、市民が毎日でも行きたくなるような、企画立案されたものを設計に折り込み具現化することのほか、ほとんどが地震や津波被害対策を強く意識した内容であった。

次に、平成24年3月定例会では、市庁舎・文化ホール・図書館建設について報告を行い、建設場所は、市庁舎は現在地、文化ホール・図書館はウエルピア伊予に決定した。

次に、平成25年2月に理事者より新たな議場

は、段床式で議員・理事者席は完全固定式の案と段床式で議員のみ固定式、理事者は移動式となる案の2案が提示され、協議を行った。

その結果、賛成多数により、議場は段床式で議員・理事者席は完全固定式とし、議場の開放には、議会専用のものであることを基本理念に置き、模擬議会等の使用に限ること

に決定した。  
また、県内外の視察研修を計5カ所実施した。  
本委員会の任務は、これで終了するが、今後も議会の持つ機能を最大限に発揮し、市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与したい。

## 議会改革特別委員会

平成23年3月に、議会改革特別委員会を設置し、より一層の議会の活性化と市民に開かれた議会づく

りを目指し、平成25年2月まで計11回開催し、慎重に検討協議を行った。

その主な内容は、まず議会として、市民への説明責任を果たすことから、市民との意見交換会を、平成23年11月に南伊予地区で、12月に南山崎地区で、平成24年1月に郡中地区で、3月に中山地区で開催した。

市民の皆様からは、非常に多くの建設的なご意見をいただき、今後、これらの意見を前向きにとらえ、議員一人一人の資質の向上と市民の声を市政に反映できるよう努力していく所存である。

次に、「自治体議会議員の役割と政務調査費の使い方あるいは使いみち」、「議会改革と議員のモラル」と題して、松山大学法学部教授「妹尾克敏先生」を講師に招き、講演会を開催した。

次に、議員定数の見直しでは、市民の関心も高

い重要な項目であり、県内他市町の状況等を踏まえ、慎重に検討した。

まず、各委員から議員定数に関する意見を述べ、その結果、削減数1人減との意見が多数を占め、次回改選時の議員定数は20人と決した。

以上が、2年間にわたるこれまでの調査研究の経過及び結果である。

既に採用実施しているもの、また成果を上げられず今後の検討課題とした事項もあるが、今後も意識改革を図りながら議員力を高め、市議会のさらなる活性化と開かれた議会づくりを目指していきたい。



市民との意見交換会